

日	曜	行事	月例	時間	備考
1	月	QUテスト	安朝	-18:00	
2	火	一斉授業日		×	出張のため、オフ
3	水	文化の日 東京都教育の日		9:00-12:30	
4	木			×	テスト1週間前
5	金	渋谷タブレットの日		×	
6	土			×	
7	日			×	
8	月			×	一夜漬けは、デメリットの方が大きい！徹夜をして眠くなってパフォーマンスが落ちるくらいなら、深く寝て早起きした方が、何倍も高い効果があるよ！ テスト勉強がんばって！
9	火			×	
10	水	後期中間考査(3年)	給食	×	
11	木	後期中間考査始 小学生体験授業		×	
12	金	後期中間考査終	給食	-17:00	再登校なし！
13	土	土曜授業 学校公開 (防災訓練)	避	14:00-17:00	再登校！
14	日			×	
15	月			-18:00	
16	火			-18:00	
17	水		専	×	自主練可
18	木	プログラミング学習(2年)		-18:00	
19	金	町会長等交流会(2年)		-18:00	
20	土			9:00-12:30	
21	日			×	
22	月	あいさつキャンペーン始	生	-18:00	
23	火	勤労感謝の日		9:00-12:30	
24	水			×	自主練可
25	木			-18:00	
26	金	校外学習(1・2年) あいさつキャンペーン終		×	校外学習のためオフ
27	土			9:00-12:00	午後 アンコン説明会
28	日			×	
29	月			-18:00	
30	火	三者面談始		-18:00	

今後の予定

11/28(日) 笹幡フェスティバル **中止**
@笹塚中学校校庭

12/25(土) X'masコンサート
アンサンブル、クリスマスメドレー、情熱大陸 他
@笹塚中学校体育館

1/22(土) or/23(日) アンサンブルコンテスト
@府中の森芸術劇場

3/12(土) 学芸発表会

3月吉日 定期演奏会

☆アンサンブル練習方法と進め方☆

～サウンドづくり～

♪基礎練習を一緒にやる
個人の音出しや基礎練習が終わったあとや、曲の練習に入る前など、タイミングはいつでも構いませんが、一緒に基礎練習することで団体のサウンドというもの、次第につくられていきます。具体的な基礎練習の内容としては、

【方法】

- ・ロングトーン(Bdur、曲に出てくる調、半音階など)
- ・ダイナミクス(クレッシェンド、デクレッシェンド、ppからffまで)
- ・スケール(音階)
- ・アーティキュレーション(スラー、テヌート、アクセント、スタッカート)

【目的】

- ・団体のサウンドづくり
- ・イントネーション(発音や音形)をそろえる

～曲練習～

1.テンポ感の共有

単純にメトロノームに合わせていくことも大切ですが、そのテンポをメンバー全員で生み出している一体感まで共有するイメージを持ちながら取り組みましょう。

【方法】

- ・メトロノームを使った部分練習
- ・楽器を置いて手拍子や足踏みで歌いながら練習する

【目的】

- ・テンポ感の共有

2.各パートのバランス調整

テンポが安定してきたら、次は、各パートのバランス調整に気を配っていきましょう。メロディーはだれか、伴奏とのバランスはどのくらいが良いか。などをスコアなどで確認しながら共有していきましょう。

特にメロディーのパートが細かく移り変わるような曲や、木管楽器がメロディーで金管楽器が伴奏をしているような部分では、非常に大切な練習になります。

【方法】

- ・全員でスコアの読み込み
- ・音量バランスの調整
- ・ゆっくりなテンポでの各パートのかみ合わせの確認

【目的】

- ・聴かせたい部分を明確にする
- ・すっきりとした演奏にする

楽器が上手くなる人の特徴 VS **上手くならない人の特徴**

- ・1日1回以上、楽器を練習する習慣がある
- ・練習記録をとり、根気よくコツコツ続ける
- ・練習を始める前に、楽譜全体に目を通す
- ・ゆっくりのテンポで練習する
- ・苦手な所を集中して練習する
- ・上手くてできない理由を考え、お手本と比較する

- ・継続的に練習する習慣がない
- ・記録を取らず、好きな時に好きなように練習する
- ・練習の前に、楽譜に目を通さない
- ・早いテンポで通し練習ばかりする
- ・自分の演奏を客観的に見直さない／苦手に向き合わない